

第69回東北海区海洋調査技術連絡会事務打合せ

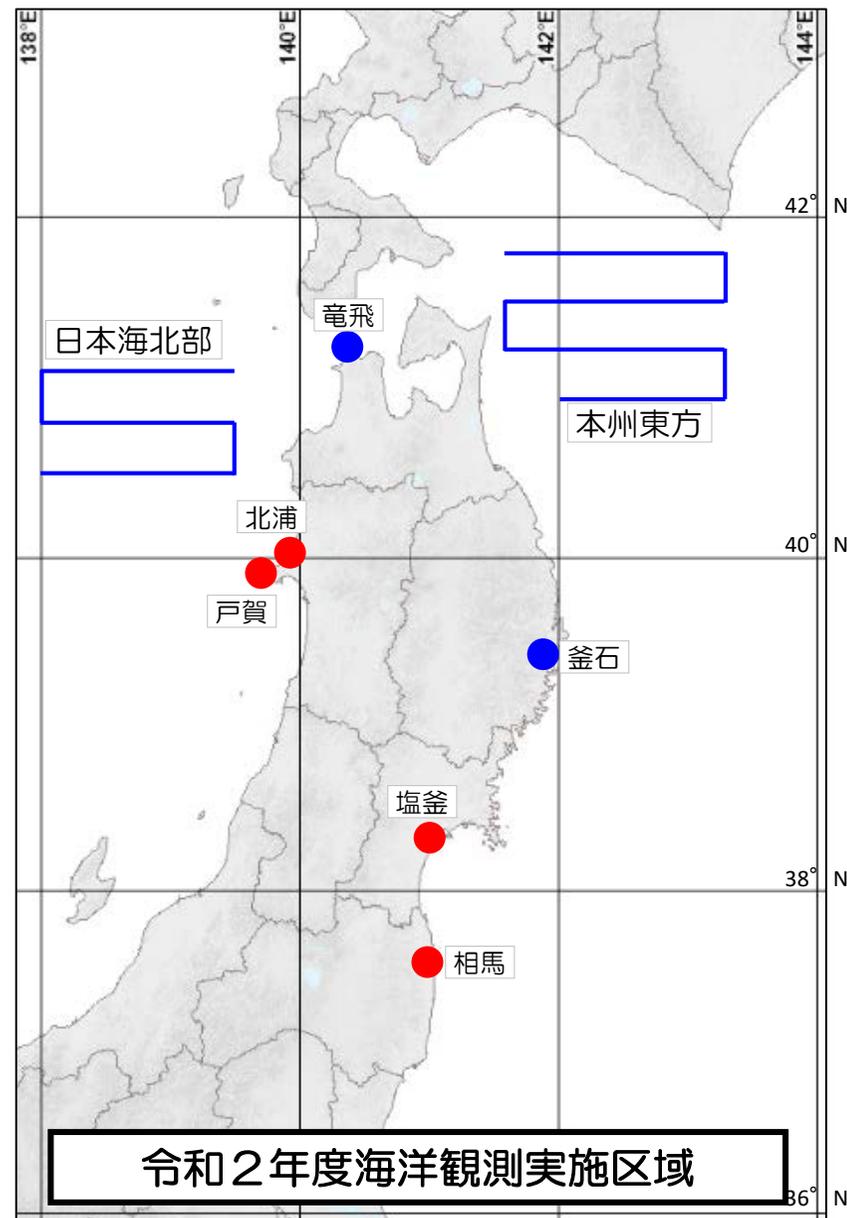
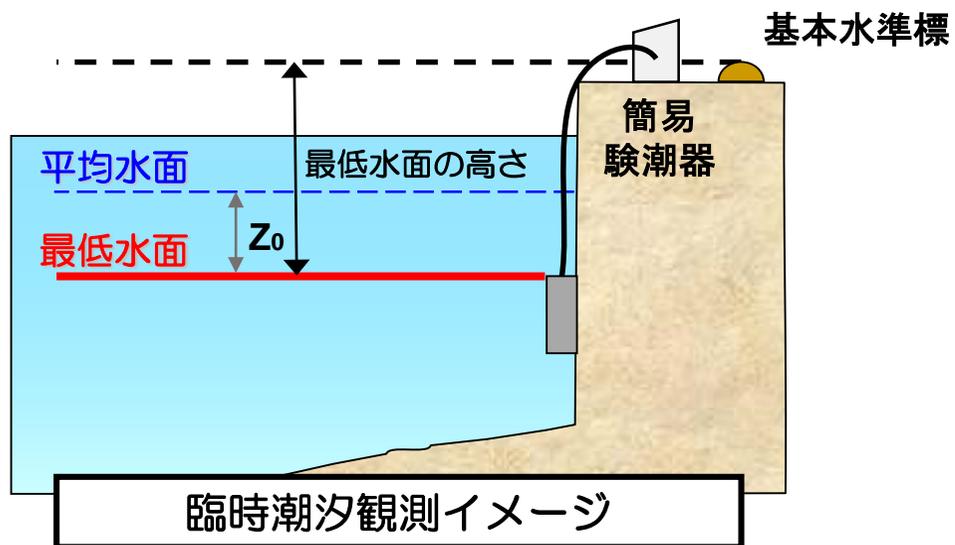
(1) 令和2年度海洋調査計画について

第二管区海上保安部,東北区水産研究所から、調査計画について報告があった。別紙参照。

(2) 令和2年度当番官庁について

順番により海上自衛隊大湊地方総監部が受け持つことで承認された。

	観測種別	観測海域	実施時期	調査項目	実施船舶
1	海流観測	本州東方 日本海北部	適宜	ADCP観測 XBT観測	測量船
2	潮汐観測	釜石・竜飛 塩釜・相馬 戸賀・北浦	適宜	験潮	—



令和2年度 海洋気象観測航海計画

気 象 庁

観測目的（案）

海洋気象観測及び二酸化炭素関連物質の観測

- ・ 気候変動に関連する年々～数十年規模の海洋変動の実態把握と機構解明
- ・ 海洋における温室効果ガスの実況監視と循環機構の解明
- ・ 廃油・重金属などによる海洋汚染の実態把握
- ・ 北西太平洋域の海面～深・底層における気候変動シグナルの把握
- ・ 西部太平洋熱帯域及び北西太平洋における同化実験結果の検証
- ・ 北海道南方海域における海況把握のための観測
- ・ 北西太平洋域の二酸化炭素蓄積量変動の把握
- ・ 二酸化炭素交換量及び海洋酸性化の推定手法の精度向上と高度化
- ・ 海洋データ同化・予報システム及びアルゴデータの標準としての観測
- ・ 北太平洋における鉛直混合過程の解明と海洋大循環・物質循環の長期変動の理解
- ・ 水中グライダーによる海洋観測
- ・ 海洋二酸化炭素変動と酸性化メカニズムに関する調査

観測機器の設置・回収

- ・ 本州東方海域における自己浮上式海底地震計による地震観測
- ・ 漂流型海洋気象ブイロボットの展開
- ・ 中層(アルゴ)フロートの展開

観測種目（案）

観測種目

海洋観測

- ・ 海潮流観測
- ・ 表層水温観測
- ・ 各層観測（水温、水質（塩分、溶存酸素量、リン酸塩、ケイ酸塩、硝酸塩、亜硝酸塩、pH）、プランクトン（クロロフィル a、フェオフィチン））
- ・ 海洋バックグラウンド汚染観測（水質（二酸化炭素、全炭酸、アルカリ度、メタン、フロン、重金属（カドミウム、水銀））、海面の油分、海面の油塊、油膜及び浮遊物）

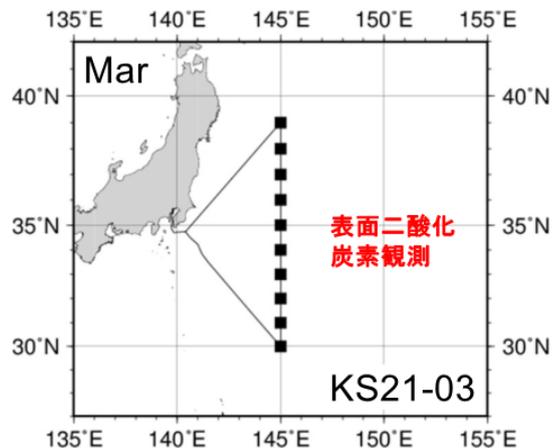
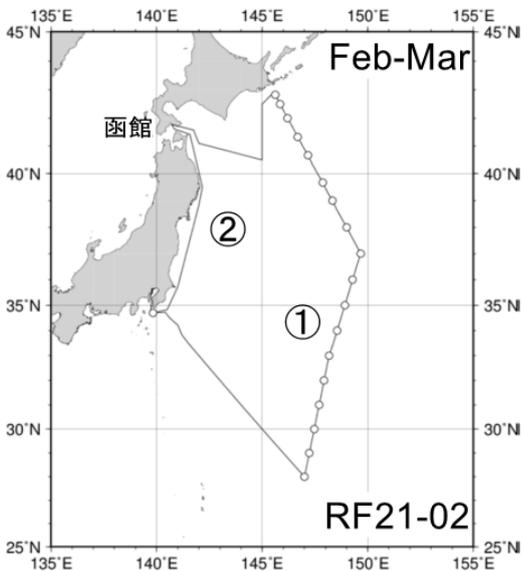
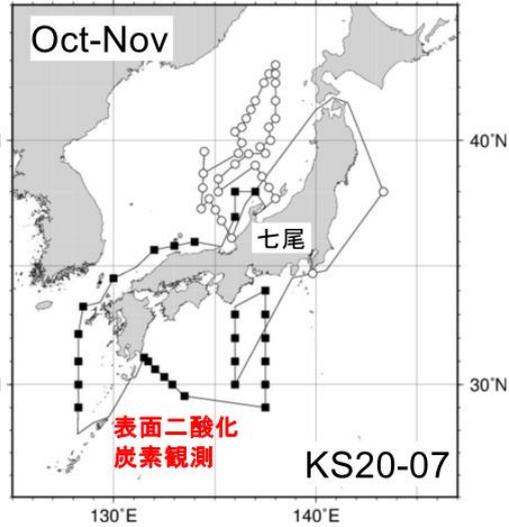
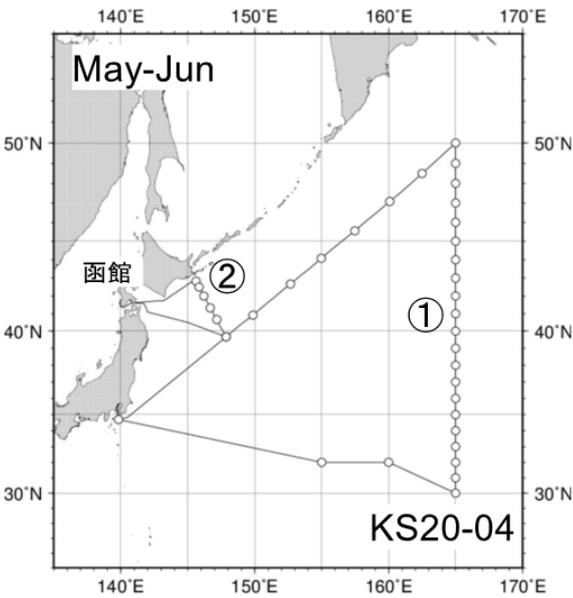
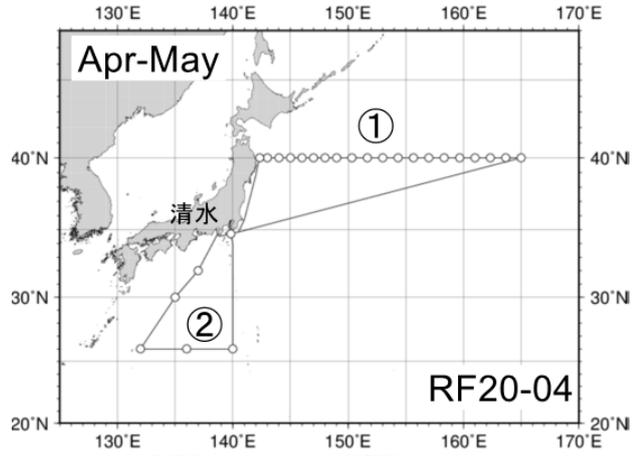
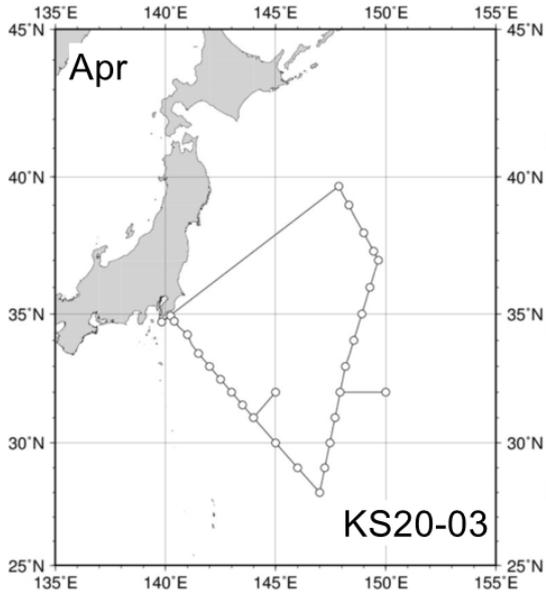
海上気象観測 定時観測・通報及び自動観測・通報

高層気象観測 定時観測・通報(凌風丸のみ)

※観測目的や観測種目は変更となる場合があります。



観測航海計画 (案)

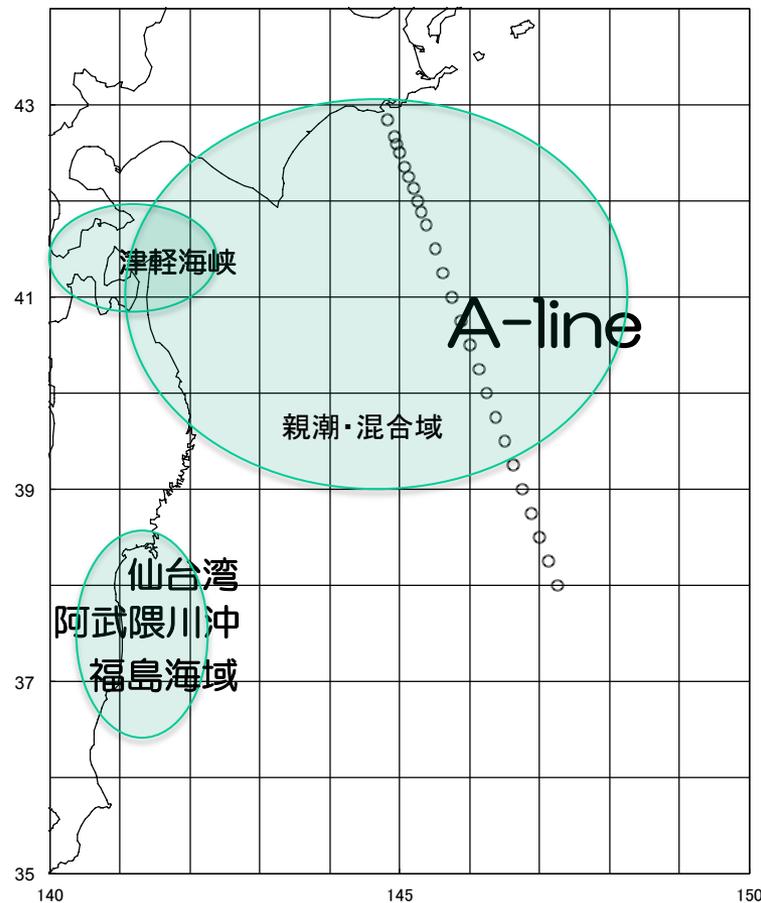


※RF は凌風丸、KS は啓風丸による観測を表します。

2020年度 海洋観測計画

東北区水産研究所 (北海道区水産研究所)

調査期間	調査目的	調査海域	実施船舶
5月中旬	A-lineモニタリング	親潮域、混合域	若鷹丸
6月下旬～7月上旬	阿武隈川周辺海域放射性物質影響解明調査	阿武隈川周辺海域	若鷹丸
7月中下旬	A-lineモニタリング	親潮域、混合域	若鷹丸
7月8月上旬	宮城県、福島県海域における放射性物質挙動調査	仙台湾～福島海域	若鷹丸
9月上中旬	混合水域漁場環境調査	津軽海峡・親潮・混合域	若鷹丸
10月上旬	A-lineモニタリング	親潮域、混合域	北光丸
11月下旬～12月上旬	阿武隈川周辺海域放射性物質影響解明調査	仙台湾	若鷹丸
1月下旬	A-lineモニタリング	親潮域、混合域	北光丸
3月上旬	A-lineモニタリング	親潮域、混合域	若鷹丸



2020年度 海洋観測実施区域